

ケニア在住の公文和子医師、 東京大学の末次先生の講演がありました。

8月29日（月）遺愛アリーナで公文和子医師の講演会が遺愛中学生・高校生720名全員対象に開かれました。公文先生は北大医学部出身でイギリスで熱帯小児医学を修めた後、アフリカのケニアに渡り、医療と教育に携わっています。自らの経験を通して、「人のために生きることにより、自分が本当にいかされるのです！」という生きていく上で最も大切なことについてお話しをして下さいました。

また、9月3日（土）13:15よりライト館301で東京大学分子細胞生物学研究所の末次志郎准教授による講演が行われました。急に決まった講演会にも関わらず、高1～高3の遺愛生が30名以上、熱心に講演を聞いていました。また東大入試や研究生生活についてもお話しを聞くことができました。

遺愛では、社会の様々な分野で活躍されている方々の講演会を可能な限り開催し、生徒の皆さんが、自分の進路と生き方について深く考える機会をつくっています。

2011年9月5日



公文先生の講演の様子

末次先生の講演の様子

